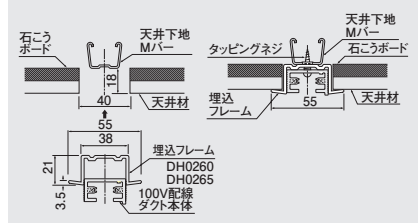


## 埋込フレームの取り付け(施工方法)

- 100V用配線ダクトのレイアウトに合わせて天井面に切り込みを入れる。
- 埋込フレームをタッピングネジ(取付間隔約1mにする)で天井下地Mバーに取り付ける。
- 長さ方向の切込みは100V用配線ダクト本体の長さプラス108mm(フィードインキャップ、エンドキャップ付)としてください。

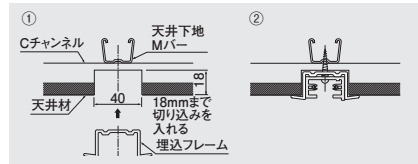
### ■天井構造の例(捨て貼り工法の場合)

- 天井面の切り込み寸法
- 埋込フレームの取り付け



### ■天井材が18mmより薄い場合の施工方法

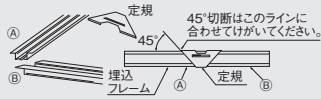
- 埋込フレームと交差する部分のMバーを切除する。
- Cチャンネルで補強します。



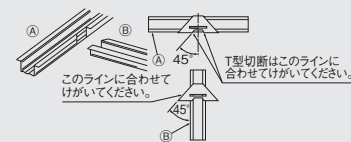
### ■口の字型、田の字型などに組む場合。

- 埋込専用のジョイナル.T.+がないので埋込フレームを加工してください。
- 標準のジョイナル.T.+と組み合わせます。定規は外箱(10本入)に1個同梱しています。

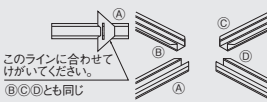
#### ●ジョイナルを使う場合(エルの場合L曲がり)



#### ●ジョイナルTを使う場合(ティーの場合T曲がり)

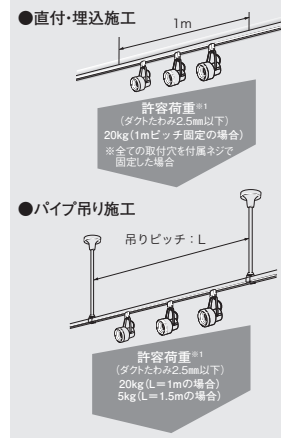


#### ●ジョイナル+(クロス)を使う場合



## ■100V用配線ダクトの許容荷重

100V用配線ダクト本体の最大許容荷重<sup>※1</sup>は、1mおきに固定されている場合、1mあたり許容荷重20kgまで取り付け可能です。

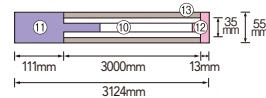


注) ※1の許容荷重は、静荷重における配線ダクトのたわみ限度を示しております。

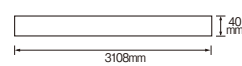
注) パイプ吊りダクトには、質量や形状により取付できない照明器具があります。必ず仕様をご確認ください。

### ●埋込施工の埋込寸法の例

天井見上げ図寸法



埋込穴寸法



- ⑩ 100V配線ダクト本体(3m) DH0213×1
- ⑪ 埋込用フィードインキャップ DH0261K×1
- ⑫ 埋込用エンドキャップ DH0262×1
- ⑬ 埋込用フレーム DH0260×1